国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』 請求記号 亥-194

扶桑探勝圖

一三

194

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

亥
194

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号　玄-194

上州草津温泉之圖
白根山
草津温泉
湯畑
天狗山
茶師堂
湯本
湯ノ沢
湯ノ沢川
湯ノ沢峠
湯ノ沢口
湯ノ沢口
湯ノ沢口

上州草津温泉圖

白根山

草津温泉

茅師堂

天狗山

湯畑

鬼の角力石

鬼の茶釜

三門

念佛堂

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号　亥-194

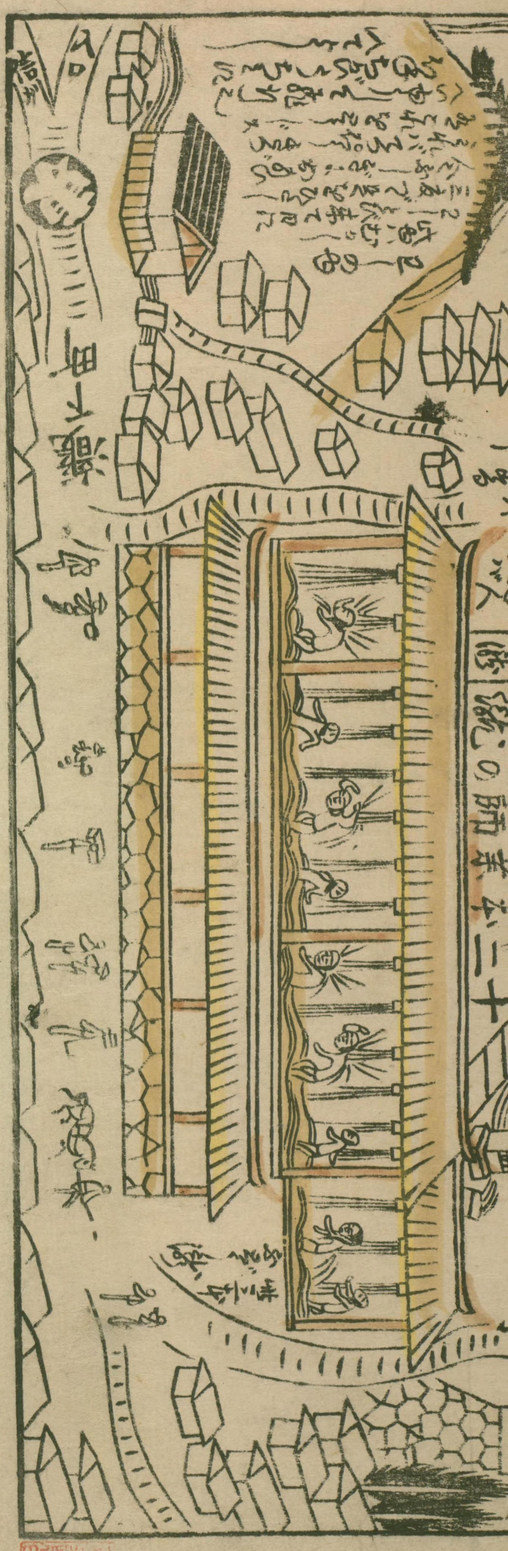
国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号　亥-194

一當温泉ハ古来ノ湯ニテ入湯ノ客常ニ多シ六月ヨリ八月ニ至テ入湯ノ客最多シ

一湯ノ効能ハ諸病ニ験アリ殊ニ婦人ノ血症ニ奇効アリ

一湯ノ効能ハ諸病ニ験アリ殊ニ婦人ノ血症ニ奇効アリ

上州草津温泉の図



国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号　亥-194

一當温泉之事ハ湯ヲお来ニ而ハ貯置之ニ而ハ胃ニ宜湯ニ而ハ
十月ヨリ湯仕舞ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

一湯ハ一方病ニ付ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

一病ニ付候ハヽ湯治ニ御出被成候方ハ御自分ニ而
御持参ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

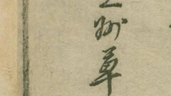
一病ニ付候ハヽ湯治ニ御出被成候方ハ御自分ニ而
御持参ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

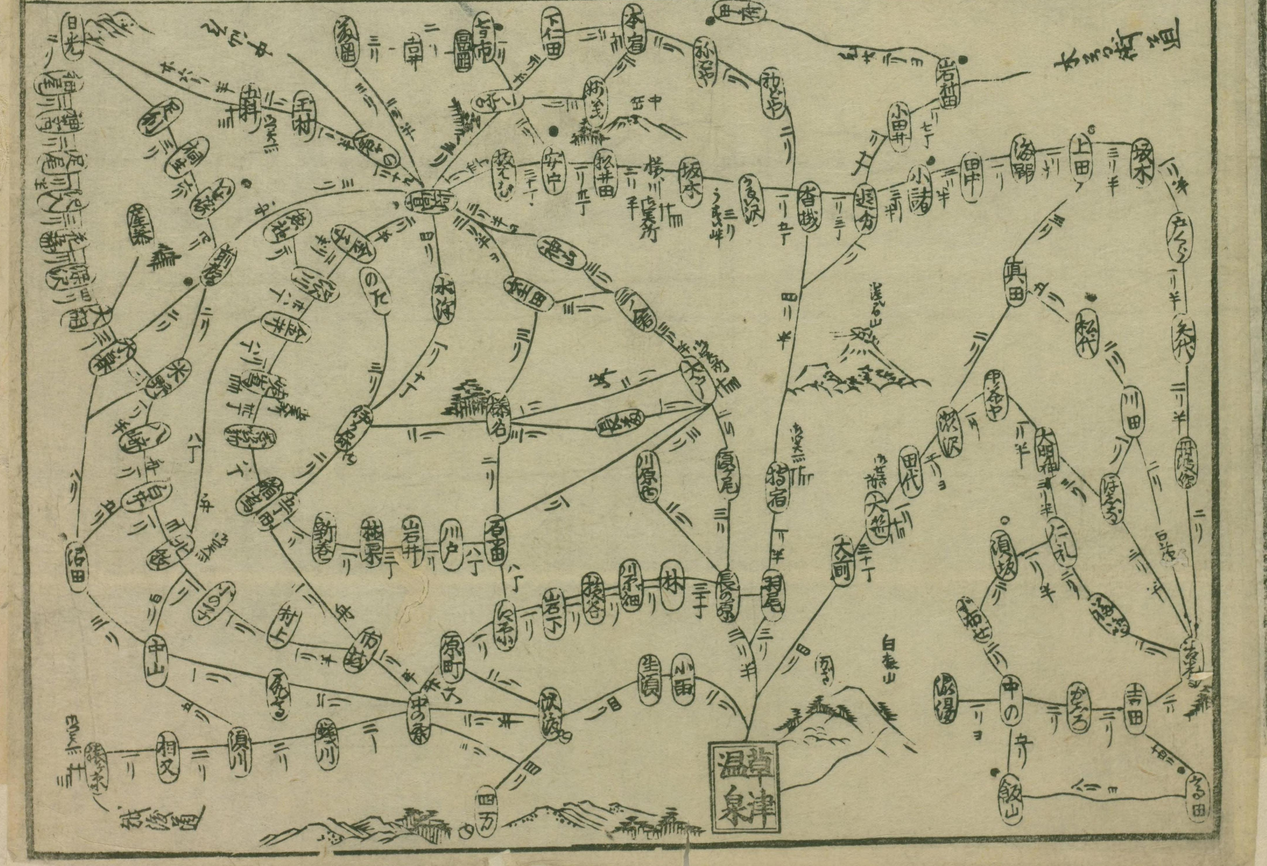
一湯ハ一方病ニ付ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

一病ニ付候ハヽ湯治ニ御出被成候方ハ御自分ニ而
御持参ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

一湯ハ一方病ニ付ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

一病ニ付候ハヽ湯治ニ御出被成候方ハ御自分ニ而
御持参ニ而ハ無之ニ付湯ハ毎年ニ新湯ニ而
御座候

上州草津温泉場
宿屋




国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』 請求記号 亥-194

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』 請求記号 亥-194

国立国会図書館　　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号　亥-194

上野國甲武信金洞山岩窟東西之畫圖

江戸 三十三里
日光山 三十七里
妙義山 一里四丁
榛名山 八里四丁
一宮 三里半
松井田 一里
漆谷 十八一
根古屋 二里
信州追分 七里
同善光寺 二十七里

上州榛名山略小圖

上毛岩榛名山略圖

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

仁賢國和歲金洞山扶桑東照宮之畫圖

江戸　三十三里
日光山　三十七里
妙義山　一里四丁
榛名山　八里四丁
一宮　三里
松井田　二里
漆谷　十八一
狼古屋　二里
信州追分　七里
同善光寺　二十七里

上州榛名山略小圖

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

日光御山之繪圖

御免　此御繪圖外ヨリ一切出不申候

下野國

御繪圖所　鉢石町　植山彌平治

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

下野國高田山の祖師聖人五百歳佛縁起の霊記

水田一夜を経る頃の地となる由にて高田と称し南北五町東西十町餘の霊地なり

金堂は五間四面もっぱら信州善光寺如来一尊并脇士の尊像を安置し供普賢大士宮殿の御作なりしを善光寺炎上の砌と共に焼失せしを聖人深く歎き給ひ自ら尊像を彫刻まし安置しまつる

佛殿堂は三間四面すべて供普賢大士同刻の尊像を安置しまつる今は當山を佛法弘通の霊地と定め給ひ佛木像を作りおさめ安置しまつる

本堂は三間半四面佛陀扶桑の鴻恩を報ぜんがため聖人皇太子の尊像を彫刻まし安置しまつる

般舟石は東西三尺南北二尺余聖人弟子正月八日の夜半に石上に夜を明し給ふに明星天子御座の霊地なりとて般舟石と名づけ給ふなり

祈禱所

佛廟は聖人佛舎利九粒を納め給ひ智恵と佛建立し給ふ

柵植の松は明星天子御手ずから植給ふの由神納ありて庭中柵植の社と名づけ給ひ護神と崇め給ふ

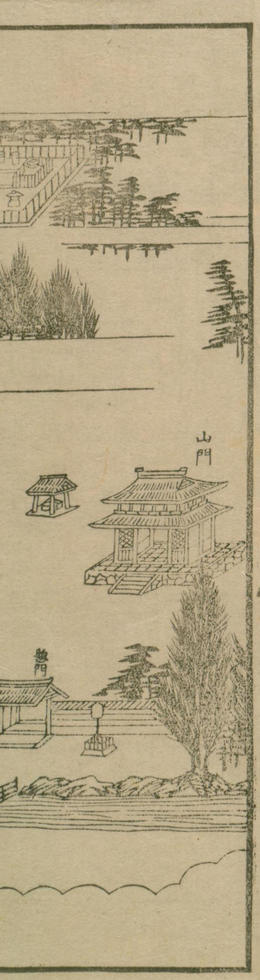
焼香は鹿島明神の聖人に納め給ふ古硯

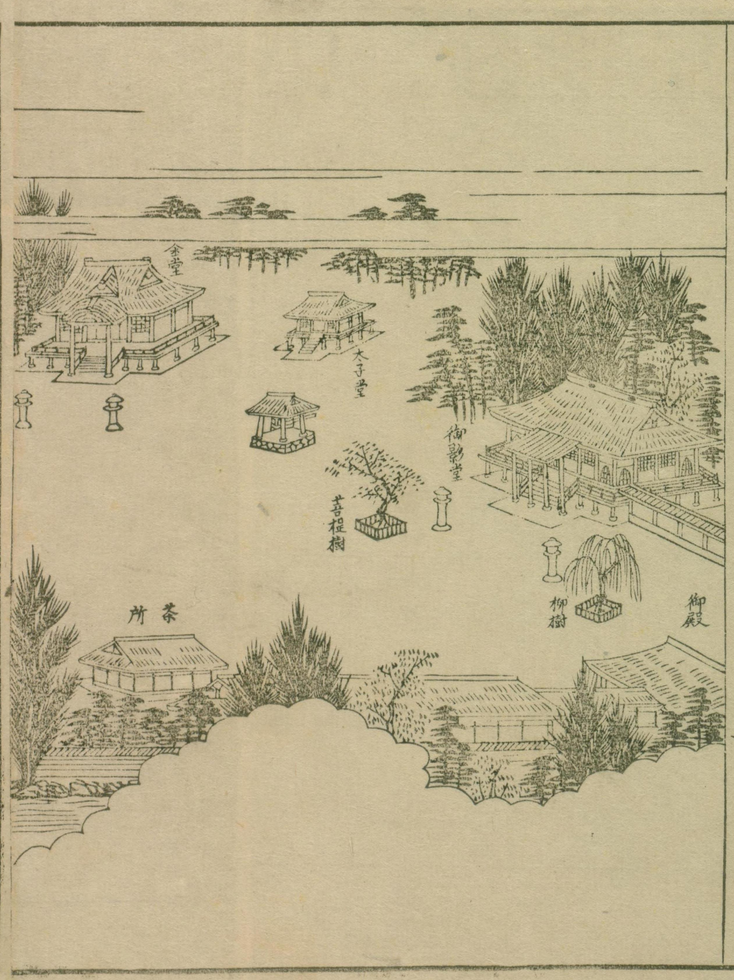
當山は第十世の傳院真慧上人中興おおふの梵宇なり

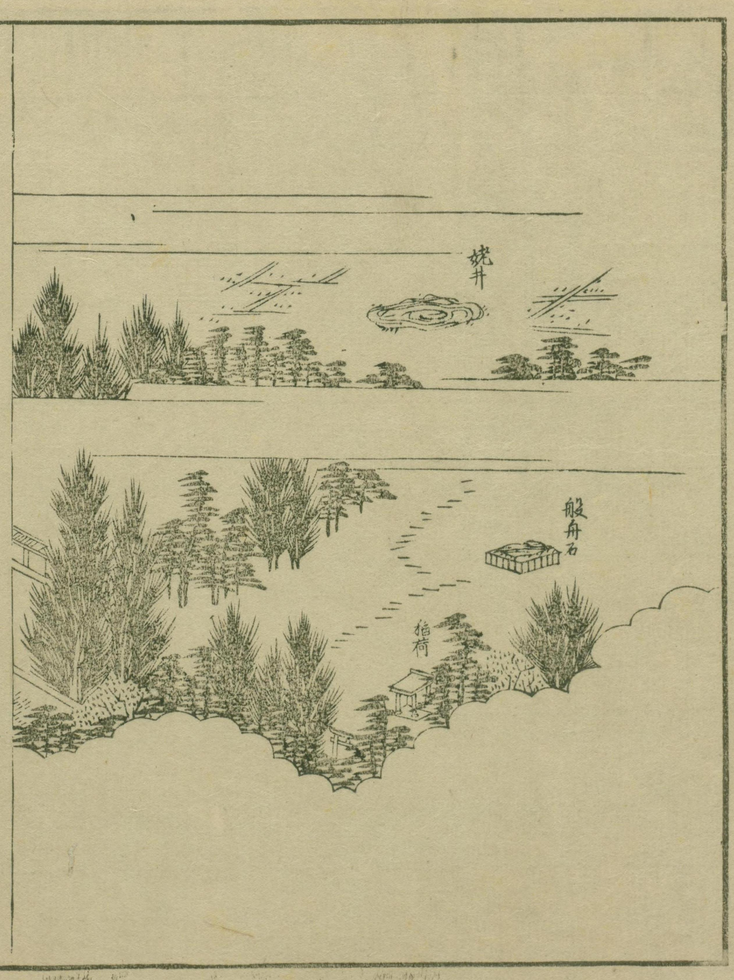
昔元弘年中聖人東国へ佛下向の時常陸入江の磯にて七ツの浪の音に如意摩尼如意摩尼の宝珠を得給ひ聖人滅後末代の為にと納め給ひき

此なんと佛不思議の念珠を浪と授入さ迄ふ霊験あらたなり

下野の国司と帰依し給ひて當山を永く一宗の本寺と定めしるし







高田山圖畫畧縁起

本文縁起三枚并絵図の地あるもの事を勘ふる所刊本を添き
画工を雇ひ写しおわり

御免　此御繪圖外へ一切出不申候

下野國

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号　亥-194

祝ひうなせ

御廟ハ座人御薗骨丸粒を納め奉(うづ)智上人御建立(ハヤシ)

柵植の社ハ明星天子ゐまし霊化を示ゐふの

守神納ゐる所ゆ柵植の社とゑくち護持(ヒ)

焼弁ニ鹿島明神の座人を綸ゐふ古語(ヒ)

當山第十世の傳統真慧上人中興おゐふの祝

區ニ住昔座人建園ゐ御下向の時當比入江の

磯にあしらおせゐ浪の音に如意庵尼(ハヒ)

庵尼の信ゐ(ヒ)座人滅後赤松の勧ゐ(ヒ)まゝ、

き北なりんと御所様の念珠を浪ゐ夜入く

(ヒ)ゐふ夏頃ゐゐ(ヒ)古墨上人下野の言句を

当地ゆ移ゐふし野州ゐ田山と御菓帝(ヒ)て

當山を永く一宗の安基としゐ(ヒ)

御影堂ハ昔四ゐゐし住昔座人(ヒ)像ゆ高ひひ

向ゐの御面像ゐ彫刻ましゐ座人(ヒ)自

の写像を安置せ中ニ隠の御影を祝ゐる

是ハ昔聖徳太子御年五十ゐ歳ゐ彫刻ゐ

上人中興ゐふ笠當山ゐ御安置

柵樹菩提樹ハ明星天子ゐう座人(ヒ)授ゐし

一夜ゆ六節生長ゐゐと真慧上人當山へ

うつりゐし野州ゐ実生と伝へふ

如来堂ハ十五間巡覚大師一刀三礼の阿弥陀

堂の写像をお彫ゐ當流の礼拝ゐ(ヒ)

の為ゆ慶山三院の大尾ゆ中興上人(ヒ)造ゐ

霊像ゐゐ説教の如来と称ゐゐ

御廟ハ座人御薗骨丸五輪のうち五輪ゐ

御本廟ゆ納ゐ左ゐゐ伝統御作ゐ

を称ゐ(ヒ)

講堂ハ住昔座人御在世野州ゐ田山の精舎

ゆ(ヒ)ゐ宝輪を落ゐ勧学堂の三大字ゐ(ヒ)

将来の模範を垂ゐふ今ゐ十八世大法ゐ輪

下開山の祖意ゐ守ゐ(ヒ)ゐ安心ゐ法義の

教勧を称ゐ(ヒ)新ゐ講堂造建ゐ(ヒ)

下ゐて勧学の三字ゐ清筆を称ゐ(ヒ)

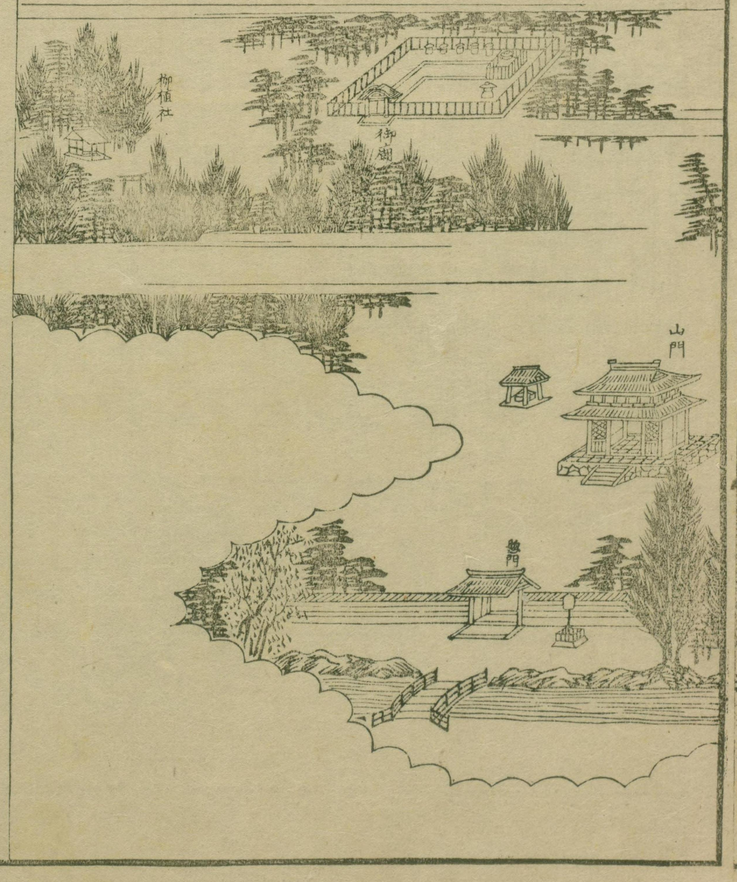
霊ゐ名堂ハ祝ゐ霊場を伝ゐて名ゐ日の西向を

ゐ(ヒ)仏閣ゐ

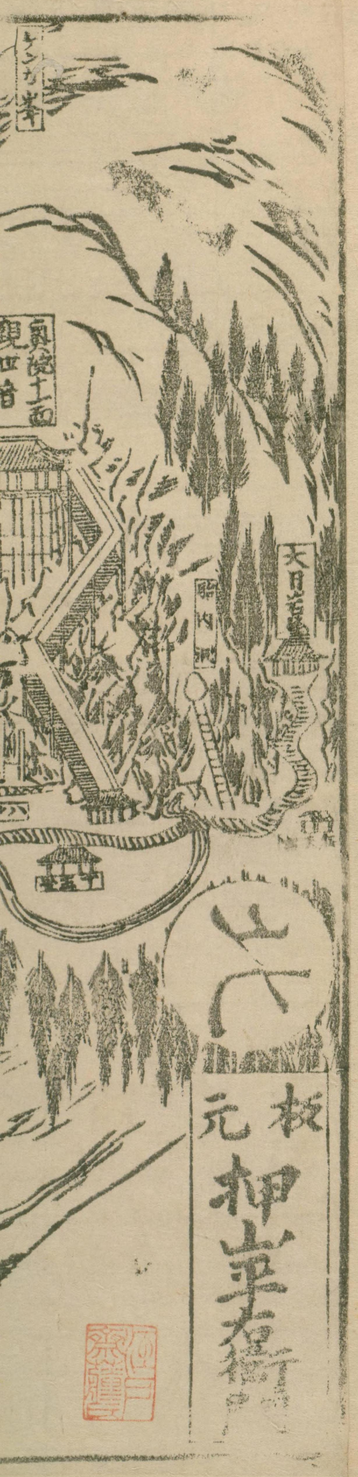
歩ハ御廟門ゆ名号ゐ(ヒ)座人御在世

御建立ゐ且ゆ真筆ゐ上人中興ゐ(ヒ)ゐ筆由の

大旨ゐ述ゐ報恩の一助とするのゐ



国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』 請求記号 亥-194



御廟
御東堂
経蔵
三門
御影堂
御樹
茶所
光部屋
蓮池
御殿
御勤所
食堂
大鐘楼

仏殿の左右より伽藍神社の古殿を経て仰ぐ

講堂は往昔唐人仏在世野州日光の神を
よびて宝輪を降し給ふ堂の三大字と額け
将来の模範を垂給ふ今年十八世大法主輪
王開山の祖意を以て学場を本山浩蕩の
教勅を蒙りて新に講堂造建の運命を
下して勅賞の三字を賜はれり
霊廟宝殿旧の霊場を伺て高台の西向を
もて仏閣の
梵刹御廟門は唐人唐在世
御建立且つ唐琴を以て中興しる事由の
大旨を述て報恩の一助とするのみ

出流山略絵図

坂東十七番

野州都賀郡

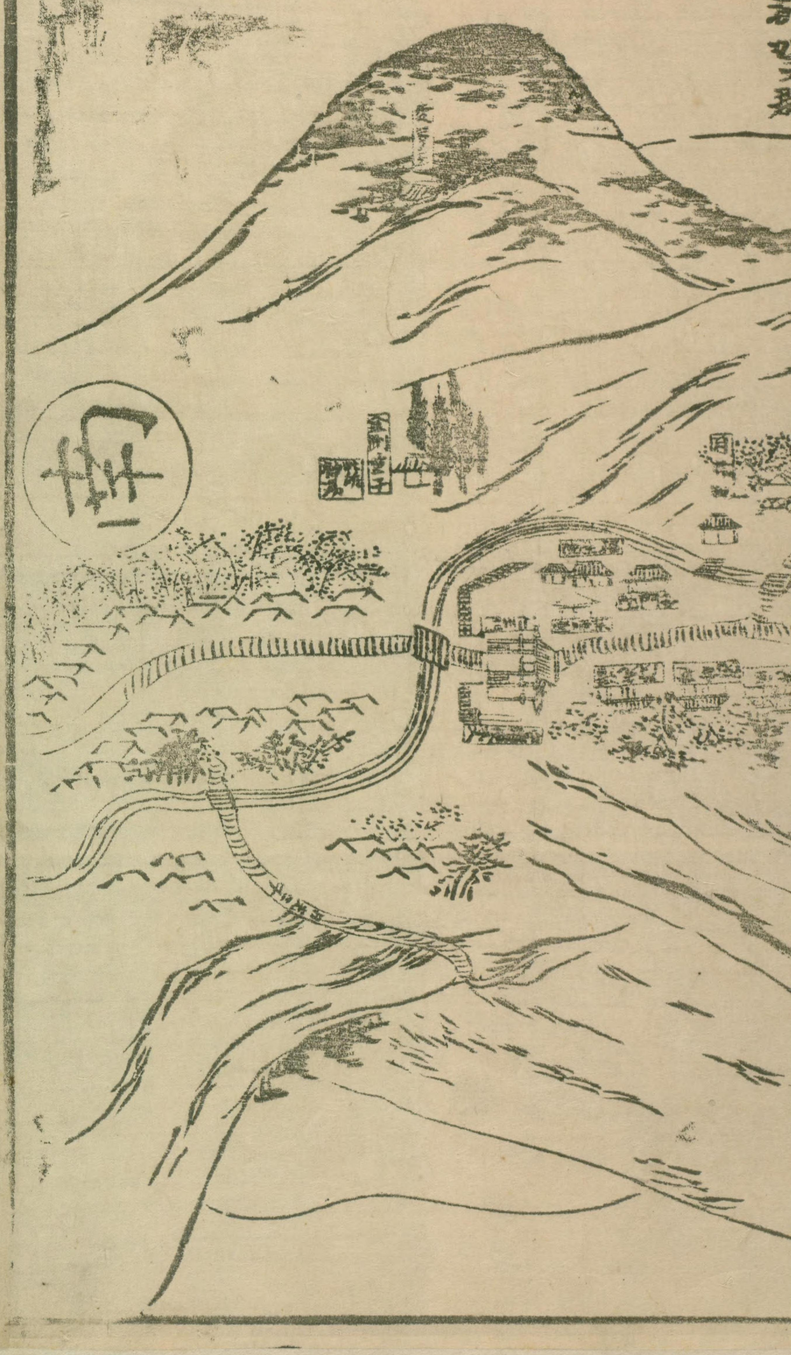
国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

奥州會津柳津之圖

東

平安法橋中和画

出流山略繪圖



国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

奥州會津柳津之圖

東

名のこさく
よもぎの香を
そこなく法
をなきしるを
世は
おろかもあるこ
草

あこ谷愛親

霊巌山十境

菊光堂　香集林
珠王塔　梛魚淵
観河殿　大揚河
諏訪廟　明星石
即中橋　玄奥岡

鳥居丹波守内
高須源兵衛印
施

多賀丹波守家臣高須源兵衛武教来申十五歳九小女
楼と称す源兵衛をこつよく乳い九ふ石住の老女名男佐小江
ひ源兵衛来住こ称すよ申初め
く源兵衛紀いく柳津虚空蔵ふ来
く源兵衛を声小勢こ同をこしを女を身近をしにくや
行方こ一寸彼の代をこ到こそこを
傳小虚空蔵より宝を授け九ひ
多記て源兵衛をくめ家内載く
十歳九寿命を保ちいこく後世
文昭院様ふ名　関右代寛政四
御年後是代寛政四

陸奥東海金華山正面圖

多聞丹波守家臣高須源兵衛越前
儀と称せり源兵衛越前守家臣十六歳九小女
ひぶ御ふ来侍ること十年ばかりいぬる石住の老女名男俊小女
く候御記いく柳津虚空蔵へ参詣
なる候御を声小聞ること月を定し
行方え一寸彼の代を動くそこ
侍小虚空蔵より宝を授け給ひしこと
多記て候御とくしめ永閉戴く
十歳にて寿命を保ちいく後世
文昭院様へ召 関右へ供奉
御丸御宝蔵小納りや被申候
右奥州会津柳津虚空蔵霊験記一巻

鳥居丹波守内
高須源兵衛越前

之圖

名のこ
よ西れの方西を
こちらく法
座なきこれを
世れ
おろやあこ
華

西之台愛親

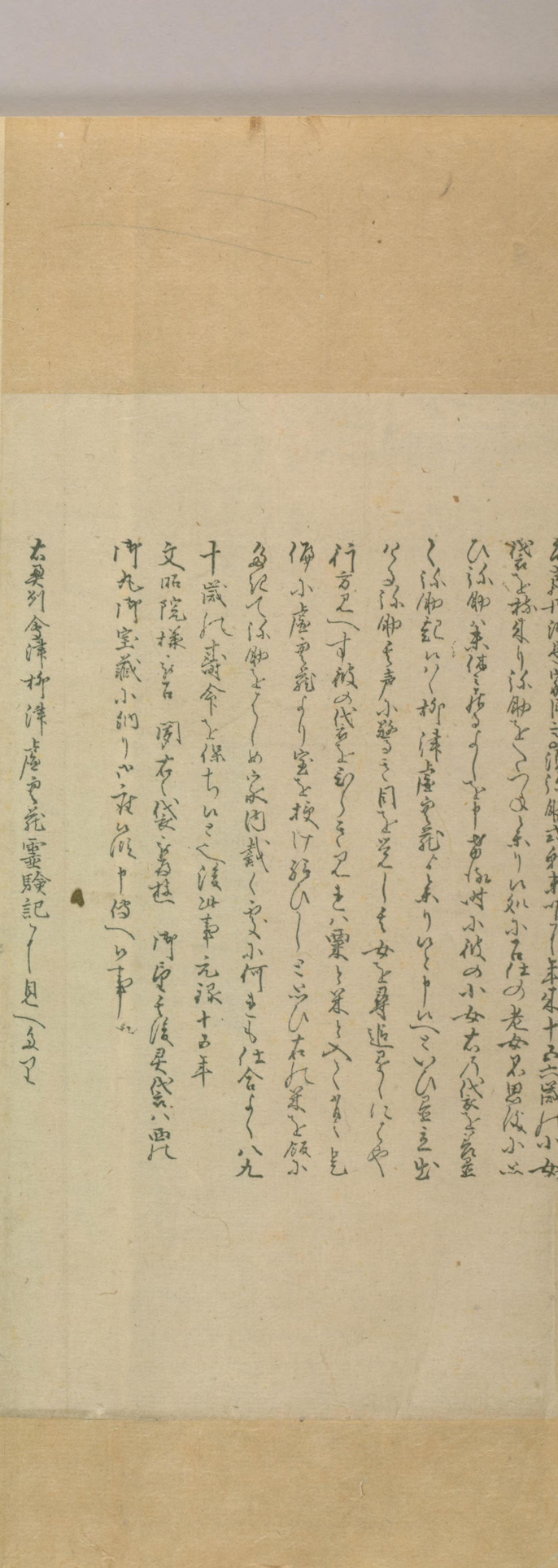
霊巌山十境

菊光堂　香集林
珠王塔　拂魚淵
観河殿　大揚河
諏訪廟　明星石
即中橋　玄奥岡

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

陸奥東海岳華山正面圖

右奥列今津柳津虚空蔵霊験記ノ一巻ヲ見ルニ



国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194
挟み込み物

山正面圖

東

西

舊蹟三社大權現

天狗角力場

大神宮八幡

清水石

孔雀池

天金寺

仁王崎

古寺地

尼石

山雜渡 海上廿丁

舊蹟委詳筒所

凡例

辯天社　龍宮出現尊像安置

神明社　滑石不動石下清水涌出

清水石

弘法大師坐禪石當山水ノ源流

水神

孔雀池　孔雀明王出現地往古大金寺舊地也

雨部大日　天狗角力場

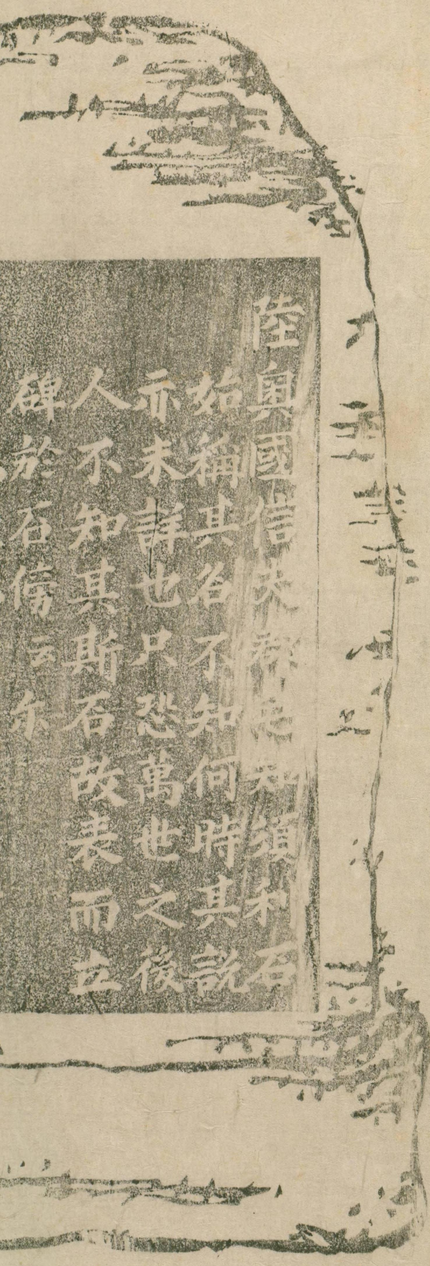
飛石　黄金石

夜光石

龍藏三社大權現社　天竺無熱池善女龍王

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号　亥-194

挟み込み物

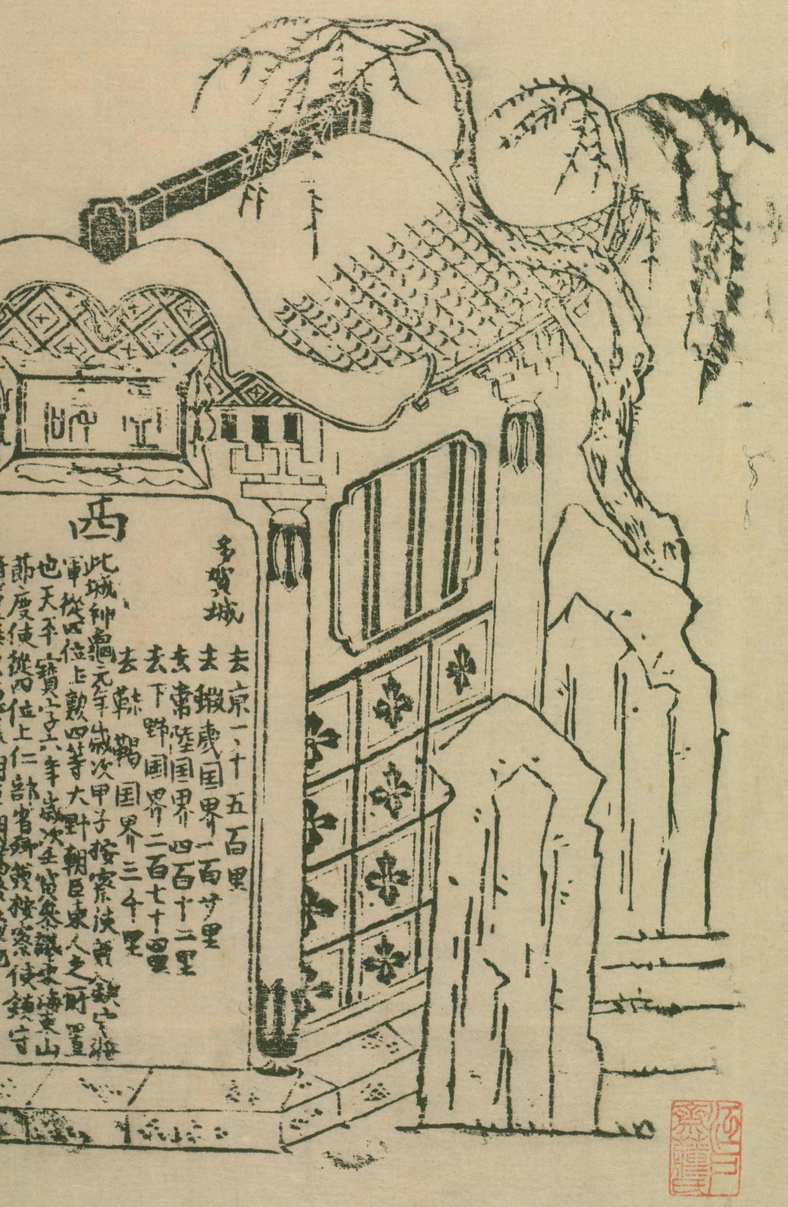


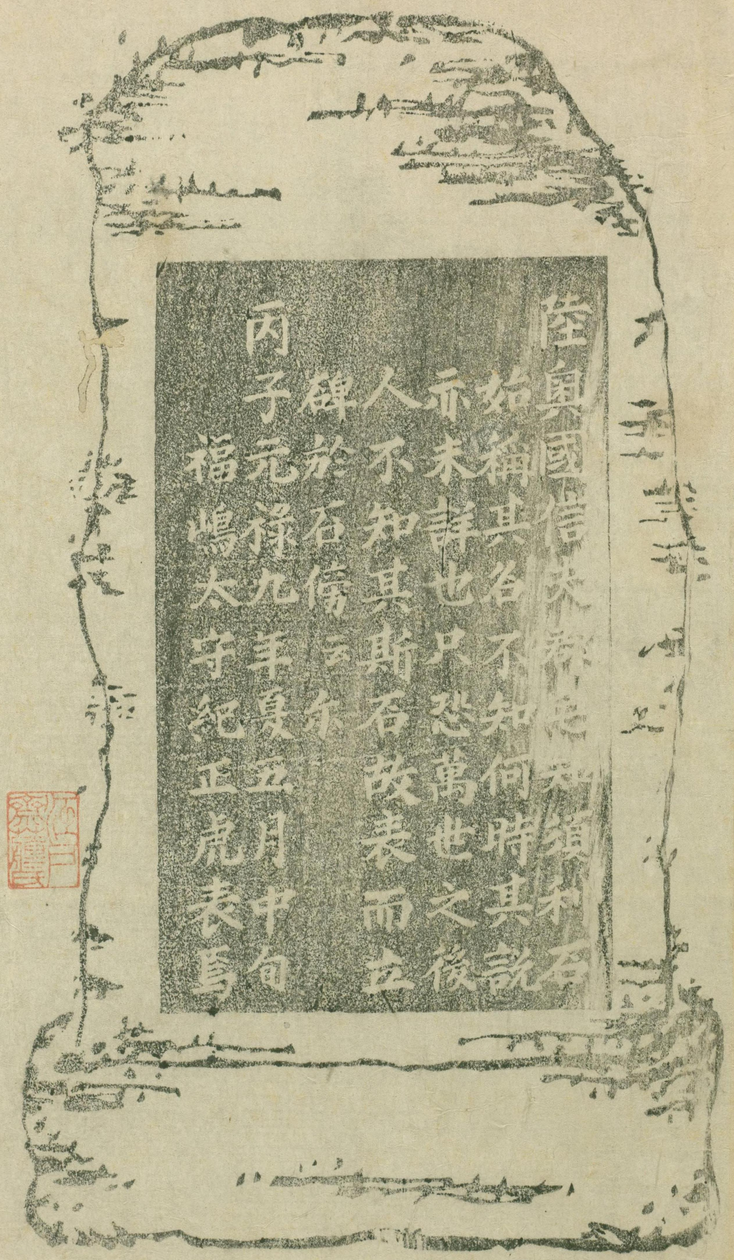
陸奥國信夫郡
始稱其名不
詳未詳也只
知何時其
說人不知其斯
石恐萬世之後
改表而立
碑於
石傍云
東

舊迹泰詣筒所
凡例
辯天社　龍宮出現尊像安置
神明社　滑石不動
清水石　石下清水涌出
弘法大師坐禪石　當山水ノ源流
水神　孔雀明王出現処
孔雀池　往古大金寺舊地也
雨部大日
飛石　天狗角力場
夜光石　黄金石
龍藏三社大權現社　天竺無熱池善女龍王十一面觀音垂跡
水晶一石　高十三尋廻十三尋
辯財天奉祀當山第一神石　天降給當山第一神石
御鉢石　天狗三天力石
船内潜　天ノ洞
蘇字峠　此地ヘ關結界第一辯財天影向シ玉フ
陰陽石　坐禪石關山上人
影向石　辯財天影向シ玉フ
山彩石　御船石
關山上人　袈裟懸松
獨古水　天狗澤
金浪越　銀浪越
大浪辺　千人澤ヘ云
大平　御船澤
千疊敷　御路地崎
黄金崎　當ヶ崎
浮土口　辯財天龍宮出現之地
大箱崎　十二童子出現之地
小箱崎　四天出現之地
四天石　阿彌陀峯
御箱龍石　愛宕石社
山神社
舊跡淺ク所ノ名ヲ繋ラレ省ク

文政二己卯歳再刻成
大金一寸

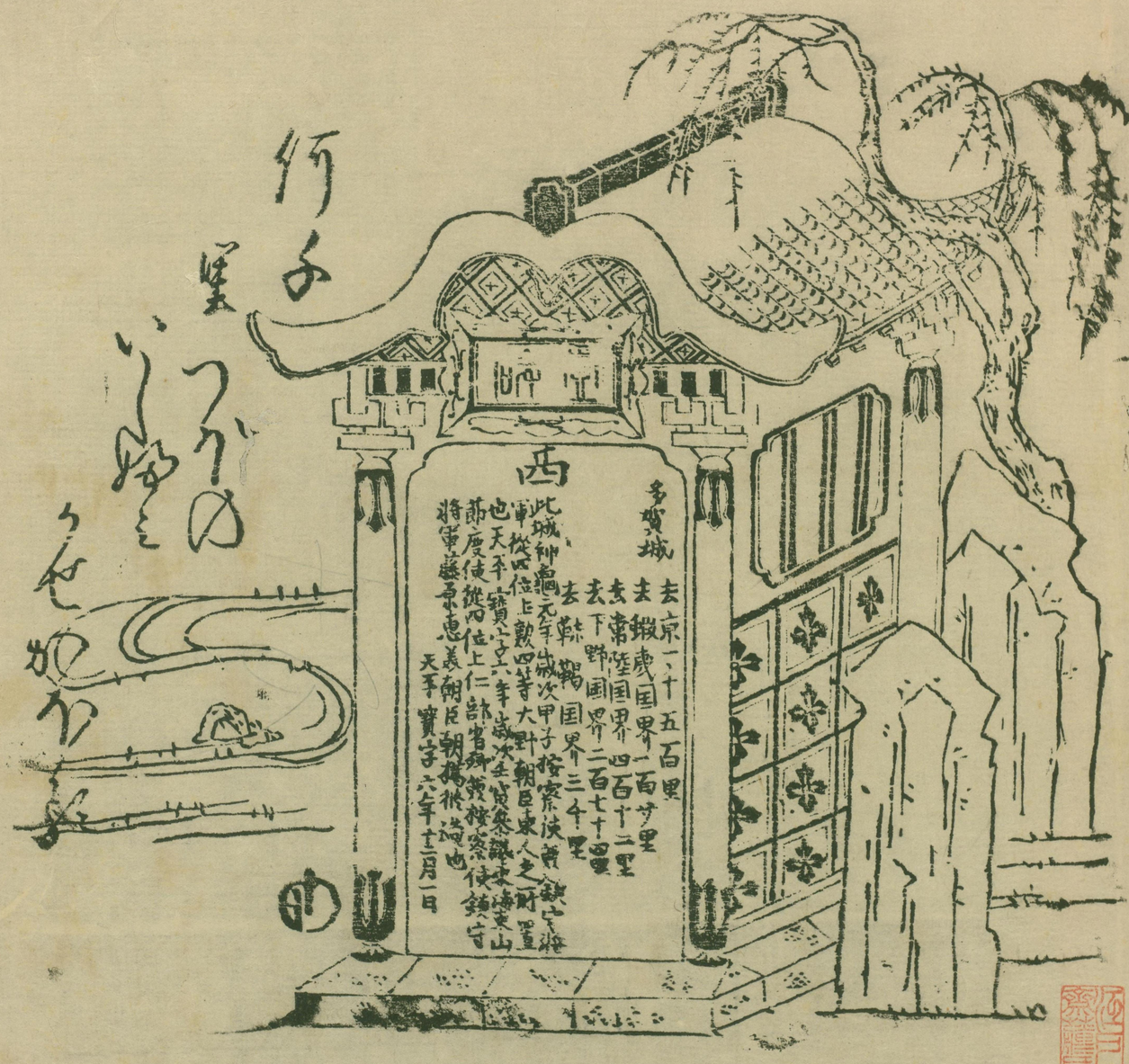
国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194

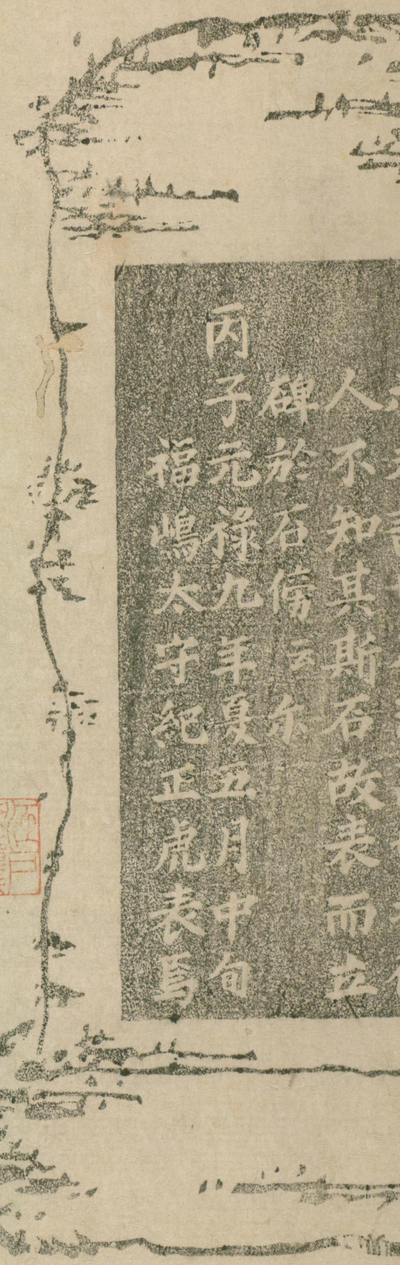




御鉾石　天狗ノ三天カ石
船内潜　天ノ洞
蘇字峠　此地ヘ開結界ノ時
雜野天影向シ玉フ
薩陽石　生禅石開山上人
雜野天影向シ玉フ時
影向石　御船石
山形石　御船石
開山上人袈裟懸松
瑞古水　天狗澤
金浪越　銀浪越
大浪辺　千人澤ト云
太平　御船澤
千疊敷　御路地崎
黄金崎　富ヶ崎
浮土口　雜野天龍宮出現之地
大箱崎　十五童子出現之地
小箱崎　四天出現之石
四天石　阿彌陀峯
御龍石　愛宕社
山神社
舊跡減ノ一行ノ多ク繁ヲ省ク
文政二己卯歳再刻成
大金一寸

国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』 請求記号 亥-194





国立国会図書館　タイトル『扶桑探勝図』　請求記号 亥-194